

JTU-HYOGO
兵庫高等学校教職員組合
日本教職員組合(日教組)

兵高教新聞

裏面
◇ 近プロカリキュラム編成講座
兵高教第33次教育研究集案内 他

神戸市中央区中山手通4-10-5 神戸市教育会館内 TEL078-261-0829 FAX078-261-1094 E-mail:hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp 発行人:西村恭介 編集:兵高教書記局

8/10 技能労務職の給与制度の見直し交渉実施

＝一定の前進的回答引き出す！＝

8月10日、兵高教は兵庫県民会館「鶴」にて、**県教委総務課と「技能労務職の給与制度の見直し」に係る交渉を行いました。**

交渉には、兵高教から、西村執行委員長・足立執行副委員長・岩井書記長・清家書記次長および小川現業職員部長、現業職員部担当執行委員が交渉に臨み、県教委からは、吉田事務局参事兼総務課長らが出席しました。

県教委からは、「今年2月の交渉以降、他府県の給与制度やその運用状況などについて調査・分析を行うとともに、みなさまがたからいただいた具体のご意見もふまえ、関係部局と何度も協議し検討を重ねてきた」「給料表の構造の見直しは避けては通れないと考えており、国行(二)に準拠した5級の給料表を導入するとともに、級別標準職務表の導入や、期末・勤勉手当の役割加算及び退職手当の調整額の見直しなど、運用の適正化を図り、対外的な理解が得られる給料制度を導入すべきと考えている」「この取扱いを現職のみならず、水準の低下につながる」「みなさま方からは、『見直しによる給与の減額幅が非常に大きく、今後の生活設計に支障をきたす』といった極めて厳しいご意見をいただいた」「対外的な説明責任を果たしつつ、みなさんに与える影響を緩和するためどのようなことができるか、検討を重ねてきた」とこれまでの経緯について説明がありました。

その上で、「現在の給料月額を基礎として、新たに導入する国行(二)給料表の同額あるいは直近下位に格付けすること(現職は全員5級格付け)」「新給料表における決定号給が5級の最高号給に達していない場合は、最高号給(69号給)まで昇給することが可能」「新4級以上の職員に限り適用される期末・勤勉手当の役割加算についても、みなさん全員が加算対象となり、退職手当の調整額についても行政職6級相当の調整額が退職手当の算定に含まれることによる」「加えて、現在の給料月額が、新給料表の5級の最高号給を超えている職員については、最高号給である5級69号給に決定した上で、一定の期間現給保障を行うこととする」「暫定再任用および定年前再任用短時間勤務の級の格付けとしては、現職のみならずについて60歳以降の生活設計を守ることを考え、現行通り再任用4級(現在と同水準)とする」「見直しの実施時期については、2023年4月1日から適用する」「現給保障の取り扱いについては、新給料表の給料月額が2023年3月31日の給料月額を下回る職員にたいして、新給料表の給料月額に加え、2023年3月31日の給料月額との差額を支給することとし、その差額は給料に含まれるものとする」「現給保障の期間は2026年3月31日までの3年間とする」との提案がありました。

さらに、定年引上げにともなう特定日以降の給料月額については、「いわゆる給料月額の7割措置については、現給保障を受けた状態で特定日を迎える職員は、特例として、現給保障されている給料月額を基礎とする」「退職手当の計算については「この度の給料表の見直しにともない、現給保障を受ける職員については、定年延長にともなう『ピーク時特例』に加え、さらにもう一段階の特例措置として、新給料表適用前の給料月額を基礎として計算することとする」等の成案が示されました。

兵高教からは、「兵庫の学校現業職員は、他に見えない多技能職であり、学校の基幹職員として学校の安心・安全を守り、子どもたちの豊かな学びを支える重責を担っている。そもそも国行(二)に準拠した給料表の導入は必要ないと考えている」「世界情勢の影響も受け、生活必需品を含む諸物価が高騰している中、本来は給与水準全体の引上げこそが必要である」「一方で、これまでの私たちの要求や現場からの切実な訴えをふまえ、当初提案と比べ、現職の技能労務職員の生活へのダメージ

をできる限り抑えるために丁寧に検討しご努力いただいたことは理解・評価している」「現給保障の期間を3年間とするとの提案であるが、現職者の実態をふまえると3年では短すぎる。再検討を求める」等を訴えるとともに、「給与制度の見直し交渉とは別の課題にはなるが、私たちが長年要求してきた正規職員の採用再開について、『現在の給与制度の下では困難』との回答が繰り返されてきた。給与制度の見直しを提案する以上、正規職員の採用再開を」と強く要求しました。

これに対し、県教委からは、「給与構造については総務省からも再三指摘を受けており、採用再開のネックにもなっていた。まずは、現状の課題をクリアする方向で考えていきたい。本日は、関係部局と繰り返し協議した結果提案させていただいたもので、精一杯の対応である。ただ、現給保障期間の再検討等を求められたので、時間がかかるかもしれないが、あらためて関係部局と何かできることがないか、持ち帰って再度検討・調整をおこないたい」との回答があり、この日の交渉を終えました。

これまでの経過

- 2021.11.9 2021 第1回給与確定交渉
県教委「技能労務職員の給与制度の見直し」提案
 - ①技能労務職給料表の見直し
(国の行政職俸給表(二)と同じ給料表導入)
 - ②等級別基準職務表の新設
 - ③期末・勤勉手当における役割加算の見直し、を提示
(年収ベースで約100万円の大幅な減収)
- 2021.11.19 総務課交渉
給与確定交渉と切り離し別途協議とすることで合意
- 2021.12~全県署名行動(1か月弱で約1,500筆集約)
- 2022.2.21 現業独自部分に係る給与確定交渉
- 2022.4.1 実施見送り、継続協議とする(全県署名手交)

兵庫高等学校教職員組合(兵高教)は、《JTU 日教組》加盟の組合で、1989年に設立しました。
※「兵庫高教組」「兵高教組」「高教組」(兵庫県高等学校教職員組合)とは、関係ありません。

第28回日教組近畿ブロック カリキュラム編成講座

8月8日(月)、ラッセホールにおいて、第28回近畿ブロックカリキュラム編成講座が開催されました。兵高教からはC分科会で阪本真人さん(西宮甲山分会)が報告しました。

◆全体会

冒頭、兵高教の西村執行委員長より開催県を代表してのあいさつがあり、続いて基調提案が行われました。

その後、米澤好史さん(和歌山大学)による「愛着障害と発達障害の理解と支援」と題した記念講演がありました。

◆C分科会

「子ども主体の学級・学校・地域づくり」

①「ニュースポーツ『クッパ』普及プロジェクト」
久見宗資さん(奈良高・吉野高校分会)

木の町吉野町を盛り上げるため、木を使ったニュースポーツ「クッパ」を活用しようと考え、地域の小中学校や吉野町との協働プロジェクトを立ち上げて、とりくみをすすめています。プロジェクトの概要やとりくみにおける生徒の様子についての報告がありました。

②「高校生が紡ぐ西宮と奄美の友好の糸」

阪本真人さん(兵高教・西宮甲山高校分会)
奄美修学旅行の友好都市交流プログラムを通して、生徒たちが「社会で生きていくための力」を獲得することを目的にプロジェクト学習を行っています。

とりくみの様子や、修学旅行を経た生徒たちの変化について報告が行われました。

2つの報告をうけ、参加者で活発に協議が行われ、学習を深めました。



C分科会の様子

兵高教 今後の主な日程

■第13回TOMO-KEN

～友に学ぶ 共に学ぶ～ (青年教育実践交流集会)

とき 10月8日(土) 13:00～9日(日) 12:00
ところ 日本教育会館

■兵高教第33次教育研究集会

とき 10月15日(土) 10:00～16:30
ところ 神戸市教育会館5階

※詳細は下記参照(全体会のみ、分科会のみ参加も可能です)

★教研でのレポート報告者を募集しています。日々の実践を報告し、参加者とともに考え、学びを深めませんか?

2022年度 第6回臨採者学習会

7月30日(土)午後、神戸市教育会館にて、第6回臨採者学習会「採用試験対策講座」を開催しました。

一次試験の結果発表を前にし、二次試験の個人面接・模擬授業の練習を行いました。面接官役は若手組合員がつとめ、自身の経験をふまえた確かな質問とアドバイスを行ってくれました。

8月8日に一次試験の結果が発表されましたが、今年も多くの方が二次試験にすすまれました。早速翌日以降個別の面接練習を行っています。

兵高教の学習会は、なかまとともに様々な人びとに関わり、教育について深く考え、学ぶことのできる場であると自負しています。

昨年度は、第一志望区分で二次試験に臨んだ組合員のみならず、みごと全員合格を勝ちとりました。今年も受験者の方がたがひとりでも多く合格し、子どもたちに寄り添い、兵庫の教育を支えていただけることを願っています。

'22 解放講座

部落問題に向きあう若い世代を囲んで -「空白の14年」を取り戻すいとなみを-

2016年の「部落差別解消推進法」の施行から5年が経過しましたが、2002年に事業法が失効して以降、教育現場では部落問題が扱われなくなり、解放運動につながる若者も減少。若い世代の教員からは、部落問題をどう教えたらいいかわからないとの声が…。

今回の講座では、大阪府連青年部で活動するおふたりを招き、その「語り」に耳を傾け、「空白の14年」を取り戻すいとなみを模索したいと思います。多くの方々参加をお待ちしています。

ゲスト： 榎山 彩さん (1995年生まれ)
荒川実来さん (1996年生まれ)
日時： 9月11日(日) 13:30～16:30
(受付13時)

会場： 兵庫区文化センター講習室

- 神戸市兵庫区羽坂通4-1-1 078-576-0981(代)
- JR/兵庫駅北側すぐ (横断歩道橋をご利用ください)

※ 参加費無料
※ コロナ感染爆発によって、強い行動制限が発せられた場合は中止することがあります。



主催 礎友会(兵庫部落出身教職員の会)
部落解放同盟 兵庫県連合会

兵高教 第33次教育研究集会

10月15日(土)
9:30～受付(10:00開会)
神戸市教育会館5階

お問い合わせは…
兵庫高等学校教職員組合
神戸市中央区中山手通 4-10-5
神戸市教育会館
☎ 078-261-0829
✉ hyokokyo@pearl.ocn.ne.jp